



CONTENTS

おかげさまで これからも…… 1 ～20年の歩み～	プレンティアの森の現在 …………… 2	冬のプレンティア…………… 3
《連載》森のエコラム …………… 1	そして、これから …………… 3	INFORMATION …………… 4
	お力をお貸し下さい・力をお貸し出来ます …3	編集後記 イチ・オシ …………… 4

おかげさまで これからも…



もう20年です。
あの頃のお子さんたちも家庭を持って、
初めて「自分ひとりの為ではない豊かさ」に
向き合い始める世代でしょう。
家族のあり方について、子供たちの未来について…。
そんなときに、もしも森の記憶が残っていたなら、
いつか子どもと…と、思ってくれるかも知れません。
今日ではなく、明日でなくても…、

あるいはそれさえも
思い出のひとつに終わってしまうかもしれません。
それでも良いのです。

あなたが豊かさについて考えるとき、
より豪華なモノやサービス以外に、この時代に残る
もうひとつの「豊かさの物差し」であり続けたいと
私たちは思うのです。



20年の歩み

1 地球温暖化京都議定書の翌年

「プレンティアの森を実現する会」が発足 (1998)

2 「森づくり」という言葉にさえ批判を浴びた

旧水窪町町有林約3ヘクタールで初のプレンティアイベントを開催 (1999)

3 CSRはまだ遠い夢だった

広告協賛会社を集め初の意見広告の提出を始める (2000)

名称をNPOプレンティアの森と改め、組織としての原型ができる (2001)

定期新聞広告を全ページ意見広告に拡大し、年4回提出とする (2002)

4 森づくりより共感づくり、指導者づくり

第1回プレンティアリーダー研修、認定を行う (2003)

1万人のどんぐりの里親 イベントを開始 (2004)

第1回「どんぐりサミット」を開催 (2005)

ロンドンにて英国BTCVと意見交換を行う (2006)

「プレンティアの森」を出版 (2006)

5 可視化、数値化こそCSRの説得力だと思った

「フォレストディングパーク構想」「プレンティア方式によるCO₂吸収量積算」を発表 (2007)

「森づくり体験作文コンクール」表彰式を開催 (2007)

ナショナルトラストによる「プレンティアの森構想」を意見広告で発表 (2008)

浜松ビジネスフェスタで「セルフカーボンニュートラル構想」を発表 (2008)



英国 BTCV 訪問 (2006)

6 行政が振り向く気配を感じた

プレンティア構想をもとに「浜松モデル」を作成し事業協働を開始する (2009)

「森色めがね」を出版 (2010)

7 協働の夢は森づくりCSR トラストに引き継がれた

浜松市との協働事業が廃止され、市との協働の道が閉ざされる (2011)

市の事業廃止後の継続のため、静岡県森づくりCSR

協働推進協議会設立 (2012)

第1回ウッドストックin小堀谷を開催

8 里山パーク構想へと大きく舵を回した

里山パーク構想を体系化して実現に向けたスキームを確立 小堀谷の里の会を設立

第2回ウッドストックin小堀谷を開催 (2013)

9 国の施策が初めて重なる見えた

CSRトラスト、小堀谷の里の会が森林・山村多面的機能発揮対策事業を申請 (2013)

第3回ウッドストックin小堀谷を「絆の集い」として開催 (2014)

10 原風景再生の鍵は生き甲斐生産だ

波川の里4.1ヘクタールを施業区域に加える

里山産品を本格的に立ち上げる (2015)

11 新しいメディアの可能性を信じた

「季刊プレンティア」を創刊、GRサポータークラブを発足 (2016)

SNS「プレンティア通信」を開始 (2018)

12 マーケットの創造

カルチャーニーズに向けて「森んピック」を第7回里山フェスタin小堀谷にて開催 (2018)

産品需要に向けて、里山産品「純蜜」を協賛企業、会員、サポーター向けに頒布 (2018)



「森づくり体験作文コンクール」表彰式 (2008年)



県知事植樹 (2013年)



水窪町長との植樹 (2001年)



全ページ新聞広告



どんぐりサミット (中日新聞より)



初期の「里親ポット」

連載

森のエコラム

半世紀のマーケティングの視野に映った

甦れ！日本の原風景 (6)

『生産』という神話、『市場』という幻想

『生き甲斐生産』に向かうトレンドに更に大きな推進役を果たすと思われるのがいわゆる『働き方改革』です。この働き方改革によって、当然ながら余暇時間が増えて行くはずですが、

最も注目すべきなのは、そうして増大する余暇時間が一体どういった方向に向かって消費されて行くのか?という点なのです。これにはすでに1950年代の家庭電化に伴う省力化について述べましたが、大きく2つのベクトルがあります。手っ取り早く言えば、増大する余暇時間を「再びお金に換えて豊かさを買う」のか、「直接豊かさの為に使う」のか、のふたつです。これらはひとえに自己実現や豊かさに関する価値観や、その為の手段に対する考え方の違いによります。具体的に言えば、同じ「安全で安心出来る新鮮な魚を手に入れる」という目的に対して、お金を稼いでより高価な鮮度の高い魚を買うか、自分で釣りに行くかといった手段の違いのようなものです。それは少々怪しげで安い外国産の野菜を、ちょっと高価な国産野菜にする為に働きに出て金を稼ぐか、ホンモノを自分の手で栽培しようとするかの違いであり、さらに、子供に塾に通わせる金を稼ぐか、自分で教えられる能力を手に入れるかの違いでもあります。これらの(目的を果たす為の手段)は共に『生産行為』である事に変わりはありません。その証拠に自分で釣りに行っても、野菜を育てても、スーパーマーケットの魚と野菜の売上げは確実にその分だけは減少するはずですし、あるいは自分の子供に自分で教えたとすれば、学習塾のニーズは少なくともその分は減って行くはずですが、

そんな市場影響など微々たるものだと思われるかもしれませんが。しかしその『生き甲斐生産』は、技術の習熟と伴に自給に留まらず、離郷した家族への贈り物や隣人、知人へのお裾分けなどに拡がって行くはずですが。もしも日本中の全家庭に一人、そうした生産者が現れたとしたら、それは市場の変革を促す程の結果を生むでしょう。しかも、これらの自給の生産力はGDPに加算されません。私たちは産業革命以来、お金を得る労働だけが生産行為であると固く信じ込まされて来ました。だからこそ一国の豊かさはGDPに現れると信じられ、一家の豊かさは疑いもなく所得の多寡によって評価されて来たのです。それは本当の豊かさだったのでしょうか?



産品

いま プレンティアの森の現在。

It's my pleasure volunteers
イツ マイ プレジャーをボランティアに繋げて

パロセロナにあるサグラダ・ファミリアをご存知でしょう。アールヌーボーの時代に生まれ、ゴシック、バロックの時代を経て未だに、いつ完成して、どんなものになるのか誰も知りません。ただ多くの彫刻家たちが、それぞれの自己を投射してちいさな部分を刻み続けているのです。

現代人の充足感を与えられた完成予想図に向かってひたすら突き進んで来ました。

ちょっとしたパラダイムシフトを楽しんでみませんか？ 壮大建築物の、ささやかな部分を刻みつづける無名の彫刻家たちのように。

森の楽しみ



社会的価値



【セルフカーボンオフセット】
大気中に放出された二酸化炭素を自ら吸収に努めようという私たちの呼びかけです。
2009年浜松市と協働事業で「再生農業による炭素吸収量換算」を発表し、農業年毎に炭素の吸収効果を認証しています。



そして、これから…

里山テーマパークへ

プレティアは、多くの尖塔で成り立つサグラダ・ファミリアです。モチベーションや手持ちの技能に合わせて楽しめる「三段農業」、生態系の始原を育てる「エコ・ダム」、森をピッチとする「森んピック」、アイデンティティーづくりを目的とした「多様な講座」。そして里山復興の生産基盤「里山産品」や、カルチャー基盤「里山体験プログラム」など…、多くの（尖塔）と、ちいさな自己実現を集めて成り立たせようとしているのです。
お力をお貸し下さい。力をお貸し出来ます。

プレティアの森 構成図



ネイチャートレイルを作る

ネイチャートレイルは施業のための重要なインフラであり、森からの恵みを受け取るポストなのです。ヒトと森との夢の通り道だと考えるでしょう。そのネイチャートレイルは今はまだ星なお暗い放置林の中。その中にワクワクするような散歩道を探し出し、育てて行くのがこれからの施業です。



フォレストイング

文化的な施設と聞くと美術館とか図書館が思い浮かぶでしょう。でもそのふたつのタイプは大きく異なります。美術館に絵を描きに行く人は少ないでしょうし、逆に図書館に蔵書を鑑賞しに行く人は居ません。テーマパークのほとんどは美術館型です。しかし里山テーマパークは、体験を通して知的な興奮や感性への刺激を享受する場であるべきだと考えているのです。それがフォレストイングという独特のアプローチです。



カルチャーという価値生産

趣味の釣り、家庭菜園、DIY…これらは皆、カルチャーというカタチをした生産行為です。近年盛んになったこれらのカルチャー生産には、生産性や効率を重視しない「ホンモノ志向」という共通の特徴があります。これは無農業・有機な伝承的な生産を生産するために欠く事のできないモチベーションです。私たちはそのための豊かなフィールドを整備して提供し、その産品にマーケティングの光を当てようと考えているのです。



実感を生む活動

主催イベントの開催

新入社員の環境教育を始め、福利厚生や顧客招待等のレクリエーションに活用されています。



共感を作る企画

森を楽しく、森で楽しく

森で楽しい時間を過ごしていただくための様々なプログラムやアイテムがあります。



共働するイベント

アイデンティティー創り

毎年恒例の、区分施業している企業による協働イベント。大きな夢の所在を確認しあいます。



伝える教育



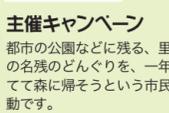
心を育むグッズ



食を考えるクッキング



呼びかけるキャンペーン



理解を深める出版

普及に必須の出版物

森林再生の理論書から技術書、森遊びの解説書、クッキングレシピやコンセプトDVDまで。



お力をお貸し下さい・力をお貸し出来ます

グリーン・レジポンシビリティ サポータークラブ

サポーター会員募集

もしも故郷の森への思いがあれば、その思いをカタチにはできませんが、あなたに提供していただく会費に見合うだけの物質的なメリットはありません。

- 個人会員年会費：¥1500円 ※入会しやすくなるよう改訂しました
- (季刊) プレティアを発行毎に郵送いたします。
 - 森づくり活動に参加 (優待) でき、リーダー講習も受けることができます。
 - 里山産品の頒布を受けられ、産品のプロシューマー生産に参加できます。
- スタッフやプロシューマー生産者になるためには別途、認定講習と試験があります。里山産品は厳格な生産規定のため、頒布数量に限りがありますのでご了承ください。



G.R.とは グリーン・レジポンシビリティ Green Responsibility の略称です。森の破壊は、ヒト社会の一方面的な利益追求の結果が生み出した現代社会最大の社会責任です。G.R.はその責任を果たそうとする森づくり活動で、サポータークラブはその活動に共感し、支援する組織です。

合言葉は **Power to the Forest**

森づくりC.S.R.トラスト

静岡県西部森づくりCSR協働推進協議会

一緒に夢をカタチにしませんか？

トラストとは企業協働の事だということをご存知でしょう。普通は、共通する事業利益を求めた協働を指すものですが、CSRトラストは共通する社会的利益に共同するものです。もしもあなたの企業や団体が、森づくりCSRをお考えなら、ぜひ夢に協働して一緒にカタチにしませんか？ 日本中に (たぶん世界にも) 先例のない挑戦です。

新しい社員の福利厚生です。社員の環境教育です。顧客への謝恩イベントです。株主、社会へのCIです。そして 環境メセナ施設の創造です。

詳細は事務局にお問い合わせ下さい。
plenteer@plenteer.com



初心忘るるべからず！ 基礎からみっちりのリーダー研修

“プレンティアの森”リーダー研修の第2回と第3回を1月26日と2月16日で行いました。第2回は、チェーンソーの組み立てから基本の姿勢まで、一つ一つの動作の意味を確認しながらの作業です。普段普通にやっていることでも、仕組みを知ることによって、よりの確で迅速に対応することができるようになります。伐木未経験者は、手ノコでの伐木で倒木の感触を体験。お昼を食べて、さあもうひと頑張り！というところで、まさかの雪。みるみる視界が真っ白になって行き、地面も白く覆われて行きます。「撤収ー!!」



作業に欠かせないのがチェーンソー。常に安全で正確な取り扱いが求められます。基礎基本を忘れずに。



上達の近道は経験値を積むこと。



木を倒す方向を決めたら、受け口と追い口で、正確に伐木する方法を体得します。まずは手ノコで。

開催日 平成31年1月26日
場所 渋川体験の森
参加人数 6人



突然、雪が!! 研修は中止ですが、ハイテンション!



出来上がったエコダムの下に、発根したどんぐりを植えてみる…活着率を上げるためのチャレンジ!

第3回の研修は、先鋒隊と中堅リーダーはチェーンソーのメンテナンス、本部スタッフは手ノコとナタを駆使して竹グズ作り。さて、どんなものができたのでしょうか？ 午後は、全員で見本となるエコダム作りに挑みました。本部スタッフも掛矢を振りかざしての大奮闘でした。本部スタッフといえども最低限の作業技術は必要なのだ!



竹の使い道を考えながら、楽しくナタの練習。



お酒を酌むのに良さそうな柄杓!

開催日 平成31年2月16日
場所 渋川体験の森
参加人数 6人



先輩達の心配そうな視線を尻目に、余裕の杭打ちを見せる女性スタッフ

プレンティアとは
個人的な楽しみ (pleasure) を、社会的な価値の創造 (volunteer) につなげようという主旨の運動の創始者による造語です。工業化社会の出現とともに失われた自然と共生する暮らしと、個人的な楽しみを通して、高い炭素の吸収効果や、豊かな生物多様性の回復など、多様な社会的価値の創造に結びつけようという呼びかけです。

森づくり CSR とは
地球の温暖化や生物多様性の崩壊など、ヒトの営みの自然生態系への影響はヒト社会全体が担うべき最大の責任です。ことに、企業は森の再生を通してその責任を率先して果たそうというものです。プレンティア方式の施業は、楽しめるレクリエーションとして、福利厚生事業としても活用されています。

INFORMATION 20周年を記念して…事務局1階のサロン化計画

『さまざまなカタチで森とふれあう場を創りたい』そんな思いの1階のサロン化です。森のテーマ曲が流れる中、ちょっとしたスカルプチャーやポスターパネル、森の手遊び作品や里山産品やプレンティアグッズの展示・販売、ドリンクコーナーなど、楽しくご利用頂けます。

また、定評のスパイスカレーや、スモークなどのクッキングや、さまざまなカルチャー講座も開講します。とはいえ、わずかなスペースです。それだけに、ぬくもりに満ちた空間にしたいと思っていますのでお気軽にどうぞ! (事務局 河合)

自然の造形美を美しくもフォトスタンド。オフイスの意匠に。

編集後記 イチ・オン

地球カレンダーというのをご存知でしょうか？地球の43億年を一年のカレンダーにして表したものです。それによると文明の芽生えは除夜の鐘が鳴るほんの1分と08秒前、産業革命に至ってはわずか2秒前の出来事です。表紙にプレンティアの20年という歳月を、ほんの数秒で読めるタイトルを繋げたひとつのストーリーにしてみました。地球温暖化京都会議から現在までの、このちいさな『歴史』に読者の皆さんはどんな感想をお持ちいただけるでしょう。

私達の活動は地域の企業や団体の協賛に支えられています。

<p>あなたの夢に、追い風を。 浜松いわた信用金庫</p>	<p>環境にやさしい光で次代を拓く人材の育成 光産業創成大学院大学</p>	<p>無添加の純花蜜・蜜の貯蓄熟成 プレミアム純蜜 プレンティアの森 里山産品プロジェクト</p>	<p>“明日”を探して今日お届けします。 株式会社 MAP</p>
<p>“自然”から学びつけよう!... 人も企業も、お役に立ててこそ喜ばれます。 株式会社 サカエ 〒430-8691 浜松市中区野町336 TEL:(053)461-4521 http://www.sakae-jp.com</p>	<p>sala 中部ガス株式会社</p>	<p>Afforest Printing 印刷する印刷 ユニオン印刷株式会社 静岡県浜松市南区大柳町851番地 TEL:053-443-7781 FAX:053-443-7780 印刷費の一部を植林活動に寄付しています</p>	<p>HOUSE TRAD GOOD DECORATIONS IS A GOOD INVESTMENT TRAD HOUSE, TRAD FURNITURE & TRAD LIFE Special Order!! www.housetrad.com</p>
<p>ひとにやさしい食品を、自然に優しい物流で... AGグループ清風会 http://www.honor.co.jp http://www.agskk.jp</p>	<p>私たちのセルフ・カーボンオフセットです 渋川の里 不二総合の森</p>	<p>循環型社会を目指して 天竜小堀谷 リサイクルクリーンの森 株式会社 リサイクルクリーン 〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣41 TEL:053-925-1366</p>	<p>永く安心して暮らせる住まいづくり 天竜小堀谷 アイジーの森 株式会社 アイジーコンサルティング 〒430-0906 静岡県浜松市中区住吉4-9-5 http://www.ig-consulting.co.jp</p>
<p>明日を探して、今日お届けします。 渋川の里 MAPの森 株式会社 MAP http://plenteer.com/</p>	<p>環境と共生する豊かな社会の実現にむけて... 天竜小堀谷 エフ・シー・シーの森 株式会社 エフ・シー・シー http://www.fcc-net.co.jp/</p>	<p>技術は環境と共生で生きる... 天竜小堀谷 アツミテックの森 株式会社 アツミテック 〒433-8118 静岡県浜松市中区高丘西向丁目6番1号 TEL (053)438-6711 http://www.atsumitech.co.jp</p>	<p>新しい価値を創造する... 天竜小堀谷 丸山コーポレーションの森 株式会社 丸山コーポレーション 本社/浜松工場 浜松市南区寺脇町710 TEL:053-441-1937 http://www.marco.co.jp/</p>

蘇れ!日本の原風景

もりながら 森力の再生

さとちから 里力の復活

N.P.O. 小堀谷の里の会

GR サポーター
・ギャラリー蔵居夢
・北村農園 ・やらまいか堂